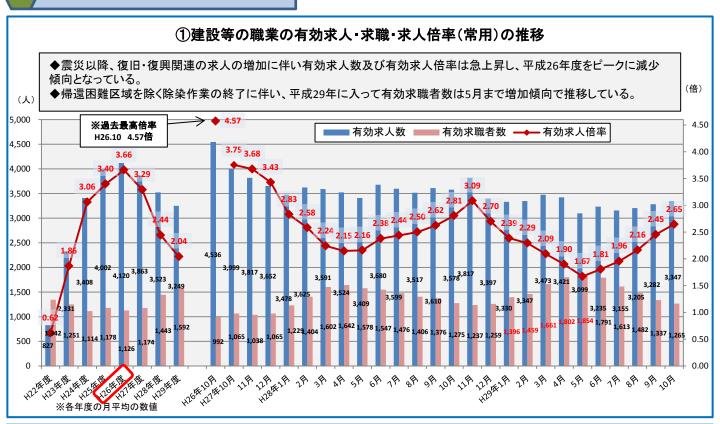
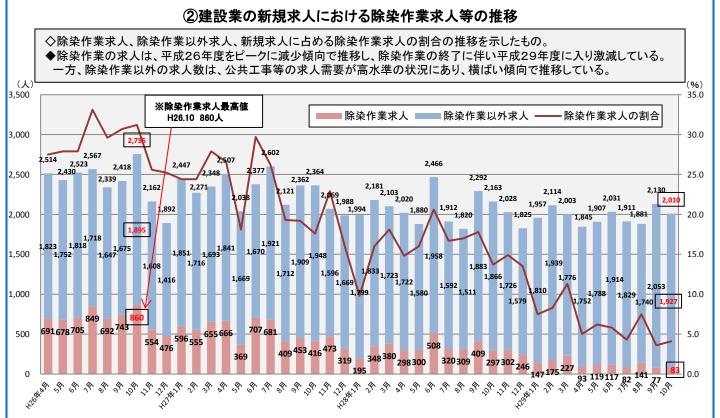
福島労働局 • 平成29年12月26日

- 1 震災以降、復旧・復興需要を背景に福島県の有効求人倍率は急上昇したが、除染作業等の進捗によりピークアウト を迎え、最近では全国平均を下回り推移している。
- 2 このような状況を背景に、①帰還困難区域を除く除染作業終了による離職者の増加と、②中間貯蔵施設の本格稼働が及ぼす雇用への影響を探った。

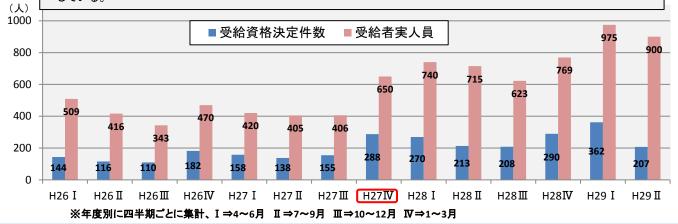
## 建設業の求人・求職の動き





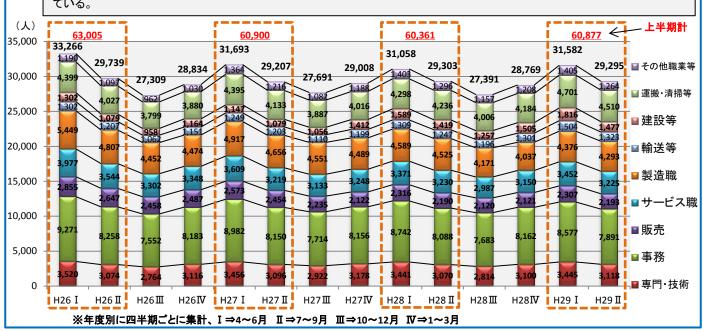
### ③建設業離職者の雇用保険受給状況の推移

- ◇建設業を離職した求職者の四半期(月平均)毎の雇用保険の受給状況(受給資格決定件数・受給者実人員)の推移を 示したもの。
- ◆平成27年度第4四半期以降、除染作業の進捗に伴う離職者の増加により、雇用保険受給者実人員は増加傾向で推移している。



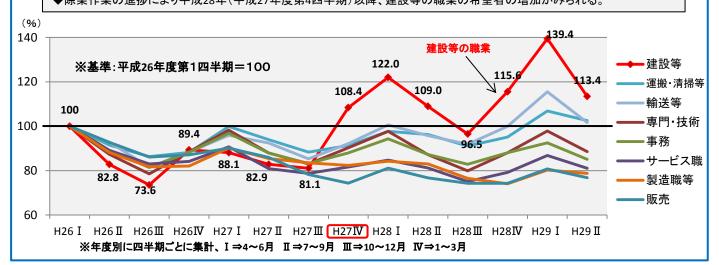
#### ④職業別有効求職者数(常用)の推移

- ◇有効求職者数を希望職種別に四半期毎(月平均)の推移を示したもの。
- ◆全体の有効求職者数を対前年同期と比較した場合、平成28年度まで減少傾向で推移しているが、平成29年度に入り増加している。



#### ⑤職業別有効求職者数(常用)の増減割合の推移

- ◇上記④の平成26年度第1四半期の有効求職者数を100とした場合の職業別増減割合の推移を示したもの。
- ◆除染作業の進捗により平成28年(平成27年度第4四半期)以降、建設等の職業の希望者の増加がみられる。

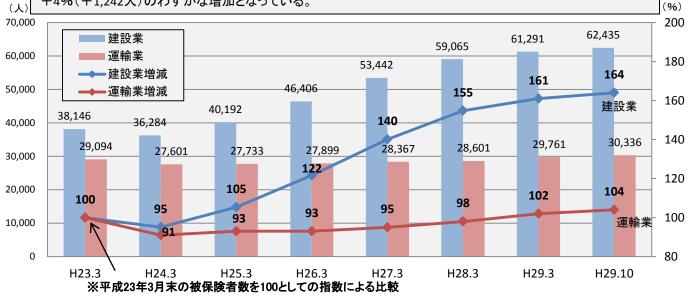


### 2

## ①建設業・運輸業の雇用保険被保険者数の推移

◇建設業(ブルーのグラフ)、運輸業(ピンクのグラフ)の雇用保険被保険者数の推移を示したもの。

◆平成23年3月比でみた場合、建設業は+64%(+24,289人)の大幅な増加となっている。 一方、運輸業は、+4%(+1,242人)のわずかな増加となっている。



#### ②建設業離職者と運輸業離職者の次の就職は

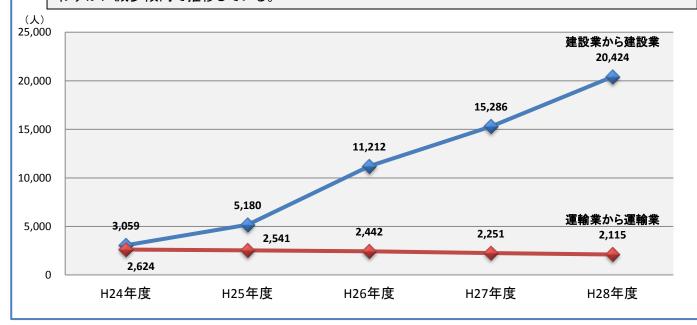
◇雇用保険被保険者となっていた者が離職後(1年以内に就職した者のみ。)、前職業種からどの業種に 就職しているかを示したもの。



※雇用保険の被保険者資格を取得した者のうち、当該資格取得年月日から過去1年以内に被保険者資格を喪失したものについて、前職の産業、現職の産業別に集計したもの。

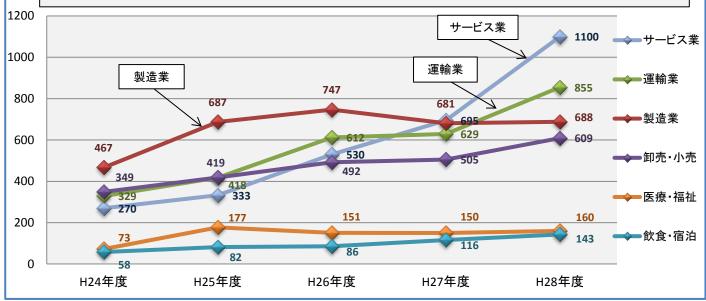
### ⑦建設業から建設業、運輸業から運輸業への就職状況

◆建設業から建設業へ再就職する者が上昇傾向であるのに対し、運輸業から運輸業へ就職する者は わずかに減少傾向で推移している。

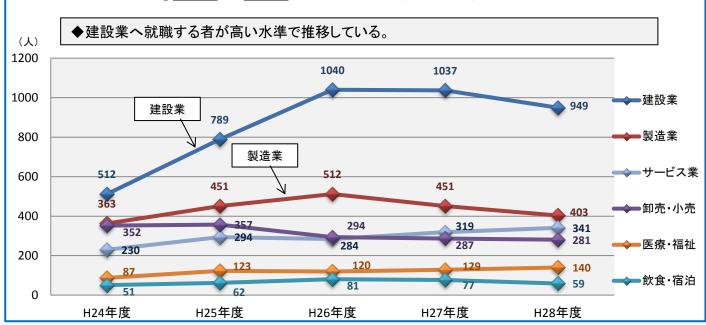


## 

◆製造業へ就職する者が高い水準で推移している。H28年度はサービス業(警備業、建物サービス業等)、次に運輸業への就職が多くなっている。



### ⊕運輸業から他業種への就職状況(運輸業から運輸業を除く。)



# 今後の取組み(人材不足・資格人材不足)

### 1 人材不足への対応

(人)

- ① ハローワークの就職マッチング強化 ハローワーク郡山に設置してる、「人材確保対策コーナー」及び県内ハローワークにおいて、建設業、 運輸業等の人手不足分野の求人・求職のマッチング支援の強化する。
- ② ハローワークによる雇用管理に関する指導・援助 福島県建設業協会、福島県トラック協会と連携し、会員事業所の雇用管理改善の必要性及び各種 助成金制度の周知を行い、職場定着のため雇用環境の向上を図る。

### 2 資格人材不足への対応

- ① 職業能力開発・資格取得の支援
  - ・ 関係機関と連携し、人材育成の高い建設等分野における職業訓練(求職者支援訓練、公共職業 訓練)を実施し、資格取得人材の確保を推進する。
  - 帰還希望者の就職を支援する福島雇用促進支援事業により、建設機械運転等の資格取得を促進する。

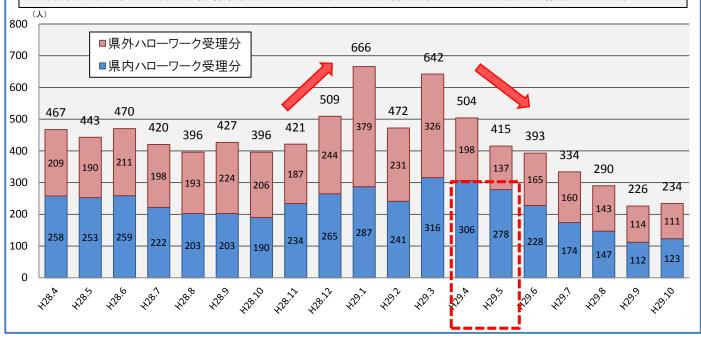
# 参考資料

## 除染離職者の求職の動き

◇ハローワークへ求職申込みの際に記入する、「求職申込書」の直近の経験した仕事欄に「除染」と記入した求職者を抽出集計し、分析を行った。

# ①除染離職者の新規求職申込状況の推移

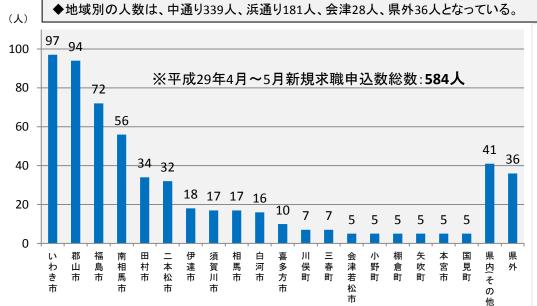
- ◇新規求職申込みの際、直近の経験した仕事に「除染」と記入された数の推移を示したもの。
- ◆除染作業離職者の約半数(47.1%)は、県外ハローワーク(本来の居住地)で求職登録を行っている。 除染作業の終了に伴い、新規求職者は平成29年に入り急増し、最近では減少傾向で推移している。



## ②除染離職求職者の求職登録の状況と現況

◇平成29年4月から5月まで県内ハローワークに求職登録があった除染離職者(上記①グラフの赤囲み部分の者)584人の居住地、年齢、男女別の数と現在の求職状況を示したもの。

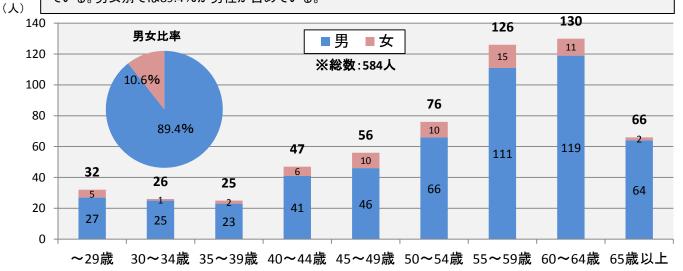
# ⑦居住地別新規求職者数



	<b></b> =	07.13	
内訳(人) 県内(その他) 県外			
港川町		宮城県	
	4		4
石川町	4	東京都	4
葛尾村	3	山形県	3
档葉町	3	愛知県	2
大玉村	3	愛媛県	2
平田村	3	岩手県	2
西鄉村	3	神奈川県	2
绞川村	2	長野県	2
中島村	2	栃木県	2
猪苗代町	2	北海道	2
南会津町	2	沖縄県	1
金津坂下町	1	宮崎県	1
雷岡町	1	群馬県	1
飯舘村	1	高知県	1
浪江町	1	埼玉県	1
桑折町	1	山口県	1
新地町	1	秋田県	1
念津美里町	1	新潟県	1
広野町	1	青森県	1
泉崎村	1	千葉県	1
天栄村	1	長崎県	1

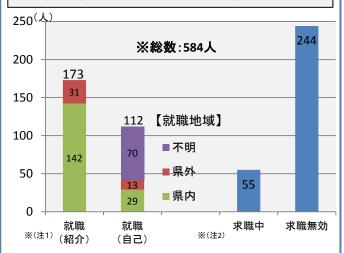
## **①年齡別男女別新規求職者数**

◆求職者の年齢別内訳は、55歳以上が55.1%、60歳以上が33.6%(最高齢は75歳)を占め、高齢層が多くなっている。男女別では89.4%が男性が占めている。



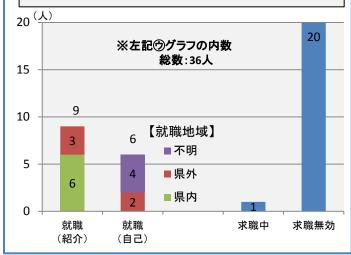
## ⑦現在の求職状況(H29年10月末現在)

◆就職者(紹介+自己)は285人で、全体の48.8%。



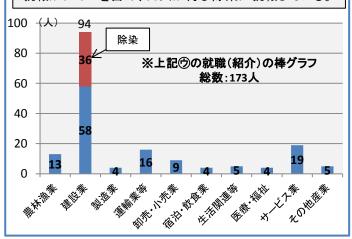
## ①県外住所の者(36人)の現在の求職状況 (H29年10月末現在)

◆就職者(紹介+自己)は15人で、県外全体41.7%。



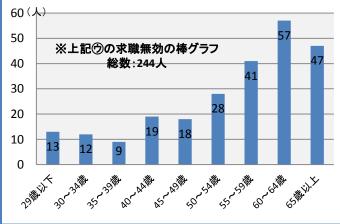
#### ⑦紹介就職者の業種別就職状況

◆上記⑦就職(紹介)173人の業種別内訳。建設業への 就職が54.3%を占め、36人が再び除染に就職している。



#### 分求職無効の者の年齢構成

◆上記⑦求職無効の者244人の年齢別内訳は、55歳 以上が59.4%を占めている。



(注1) 就職(紹介)⇒ハローワークの紹介により就職 就職(自己)⇒ハローワーク以外の経路で就職 (注2) 求職中 ⇒ハローワークにおいて求職活動を継続している者 求職無効 ⇒ハローワークの求職登録が無効の者(求職登録の有効期間は、最大3か月間。定期的な相談がない場合、この期間で求職登録が無効となる。)